



祝 創立100周年

安田学園は、1923年（大正12年）4月に初代安田善次郎翁の遺志によって創立され、本年で創立100周年を迎えます。

その間、大正・昭和・平成・令和と、時代の変遷とともに歩んでまいりました本校教育は、社会情勢の変化、教育制度の改革等、激動する社会の流れに適応しながら、幾多の苦難を乗り越え、輝かしい校風を築いてきました。

創立100周年を迎えるにあたり、それぞれの時代のめざす最高の理想を教育の中に求められ、生徒たちの教育のために努力してこられた歴代の諸先生方、PTA、同窓会の皆様に対し、深く敬意を表したいと思います。

この平成・令和の30数年の本校の歩みの中から、主な事がらを掲げてみますと、教育環境・施設・設備の面では、北館の完成（平成11年）、本館3階の改修工事による大職員室・相談コーナー・自習室・面談室の完成（平成23年）、武道場の完成（平成24年）、南館の完成（平成25年）など着々と整備されてきました。

教育内容の面では、平成16年に「バリューフィールド構想」と呼ばれる学園改革を基に、平成22年からは3ヶ年ごとに「中期経営計画」を策定しながら新たな改革に取り組んでまいりました。平成22年に今後のグローバル化する社会に対応するために実業科の廃止と男女共学を見据え、新たに教育目的として「国内外の社会で有用となる人材の育成」を掲げました。その目的達成のために、平成24年に教育目標「自学創造」（自ら考え学び、創造的学力・人間力を身につけ、グローバル社会に貢献する）を設定しました。そして平成26年に、進学校・共学校に生まれ変わりました。共学当初は、地域の期待もあり生徒数も伸びましたが、その後数年間は受験者数・生徒数も横ばいの状況が続きました。令和に入り一貫部の先進コースの一期生の卒業からその進学実績が評価され毎年受験者数・生徒数が増加し、令和4年には26年ぶりに在籍生徒数が2,000名を超えるようになりました。

特に、令和に入り、新型コロナウイルス感染症の蔓延により学校も急速にICT化が進み、さらに令和5年に入り新型コロナウイルス感染症の対応が変わり、グローバル化も急速に回復さらに展開しています。このような中で本校は伝統である「文武両道」のもと、勉学はもとより、生徒会活動やクラブ活動、ボランティア活動など積極的に取り組んでいます。

創立100周年の節目にあって、これまでの良き伝統を踏襲しつつ、これからの新しい時代に合った学校づくりに邁進し、さらなる発展に向け努力してまいりますので、今後とも皆様の一層の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

稲村 隆雄